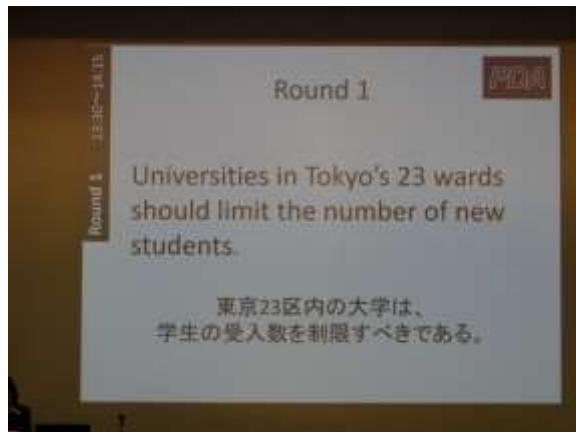


## 即興型ディベート全国大会

平成29年12月23日・24日の両日、東京大学駒場キャンパスで即興型ディベート全国大会が行われました。即興型ディベートとは題目が発表されてから15分で、賛成側、反対側の双方が自分たちの論を考え、その後ディベートを行うというものです。賛成側か、反対側かは主催者が決めます。全国から59校64チームが参加しました。本校からは2年の女子1名と1年の男女1名ずつ計3名が1チームとなり出場しました。

1日目は予選の日で、ディベートを4試合行いました。1試合目は、東京都立日比谷高校、2試合目は奈良県立奈良高校、3試合目は東京の私立渋谷学園渋谷高校、4試合目はさいたま市立浦和高校と対戦を行いました。ディベートの題目は以下の通りでした。

1 試合目・・・Universities in Tokyo's 23 wards should limit the number of new students.  
(東京23区内の大学は新入生の数を制限すべきである。)



2 試合目・・・Reporting real names of crime victims should be prohibited.

(犯罪被害者の実名を報道することは禁止すべきである。)

3 試合目・・・Grade-skipping should be introduced in compulsory education.

(飛び級を義務教育で導入するべきである。)

4 試合目・・・Government should restrict the time spent on online games.

(政府は、オンラインゲームに使われる時間を制限すべきである。)

どの題目も議論するには難しかったのですが、結果は2勝2敗で、全64チーム中36位でした。即興型ディベートを平成29年7月から始めて、まだ半年ほどで2勝できたことはまずまずの結果でした。決勝トーナメントに進出できるのは上位8チームだけだったため、本校は決勝トーナメントに進出できませんでした。決勝トーナメントに進出したのは、すべて関東と長野の高校でした。関東では即興型ディベートが早くから導入されており経験の差が出ました。

2日目は決勝トーナメントの試合を見学しました。決勝トーナメントに進出したチームは、自分の持ち時間で、できるだけ多くの情報を盛り込むべく、とても速いスピードで英語を話していました。その光景を見ると、本校の生徒はまだまだであることを実感しました。生徒には、次回の全国大会に向けて、練習を積んでもらいたいと思います。

決勝トーナメントの題目は以下の通りでした。

準々決勝・・・Promoting studying abroad for Japanese students will save Japan.

(日本人学生の留学を促進することが日本を救う。)

準決勝・・・Automatic driving cars do more good than harm.

(自動運転車は、害よりもむしろ益がある。)

決勝・・・Development of AI weapon should be banned.

(人工知能を搭載した兵器の開発を禁止すべきである。)